

移動式廃棄処理事業について



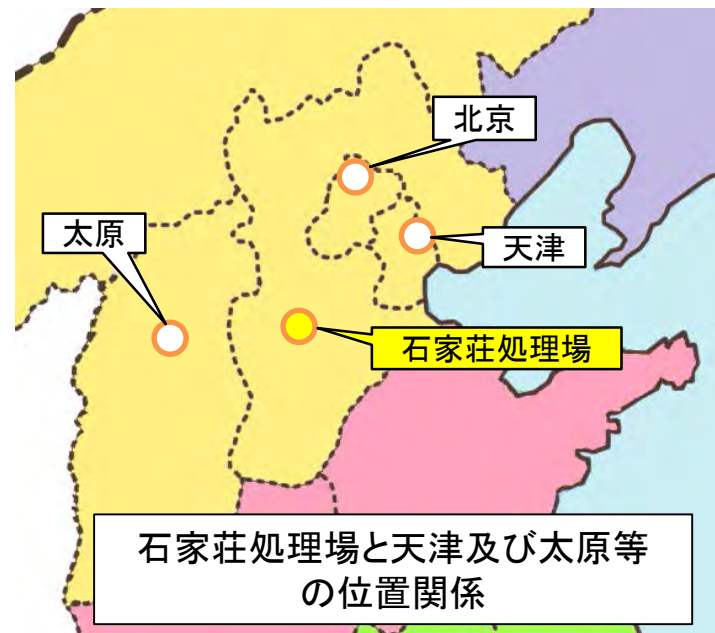
平成28年2月3日(水)
第15回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

1. 石家荘の廃棄処理事業
2. 武漢の廃棄処理事業の完了及びその後の作業
3. ハルビンの廃棄処理場の準備

石家莊の廃棄処理事業

【進捗状況】

- 2015年は天津から594発の砲弾等を輸送し、2014年に処理が積み残しとなった15発を含め、計609発の砲弾等を廃棄処理した。(累計2,310発)



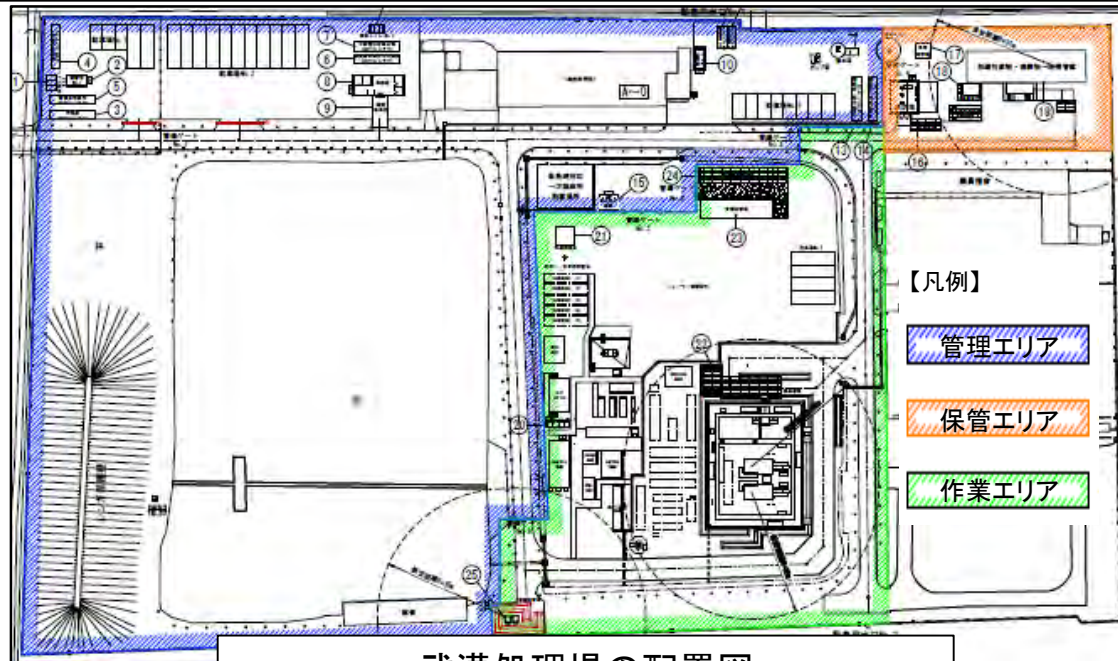
【今後の見通し】

- きい剤補給容器4缶分の廃棄処理を実施する。
- 太原で新たに発掘・回収された砲弾等535発の廃棄に関する検討を進める。

武漢の廃棄処理事業の完了及びその後の作業

【進捗状況】

- 264発の砲弾等処理し、2015年7月に事業を完了。
- 処理設備は、今後ハルビンへ展開するための改造を施すため、2016年1月に日本へ返送。



武漢処理場の配置図



武漢処理場(処理設備撤去後)

【今後の見通し】

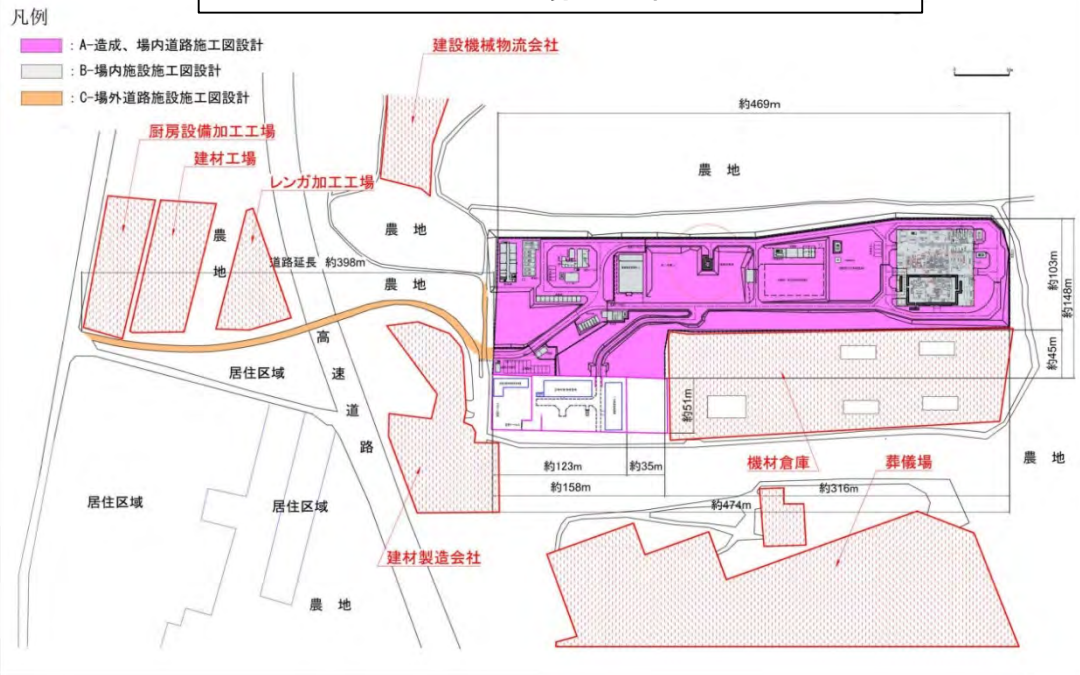
- 廃棄物保管庫を除く処理場用地の原状回復を行い、中国側に用地を返還する。
- 廃棄物の今後の管理体制及び処分方法について日中間で協議する。

ハルビンの廃棄処理場の準備

【進捗状況】

- 2015年7月、周辺の幹線道路と処理場予定地を結ぶ、場外アクセス道路工事が完成。
- 2015年10月、処理場予定地内の既存構築物解体及び樹木伐採が完了。

ハルビン処理場の配置計画図



場外アクセス道路の完成状況

【今後の見通し】

- 早期に処理場予定地内の敷地造成及び場内道路工事等に着手する。
- 上記工事等完成後、処理場予定地内の建物工事等を実施する予定。